

特別支援教育 (小学校)の実践

～授業者と巡回相談員の立場から～



学校教育においては、2020年からの新学習指導要領実施に向けて移行段階に入りました。その中でも、特別支援教育についてはその重要性が明確に示され、インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組が進められております。インクルーシブ教育システムの構築には、乳幼児期を含め早期からの教育相談や就学相談の実施、当事者に対する「合理的配慮」の充実、多様な学びの場の整備と学校間や関係機関との連携等の推進が求められ、我々臨床発達心理士としても、このどこかで関わる可能性が十分に考えられます。

そこで、今回の研修会では、指導教諭として小学校の特別支援教育の推進に取り組み、また特別支援教育巡回相談員として徳島県内の学校に出向いて、多くの相談業務等を経験された早川貴久子先生を講師としてお招きします。子どもへの支援や教師・保護者に対する支援・助言、関係機関との連携の仕方等について、特別支援教育の視点で取り組んだ教育実践や、市教育委員会に協力している研修等のこれまでの経験を含めてお話していただきます。そこから、教育・保育現場等で困り感をもっている子どもの見取りや外部からの教育相談、コンサルテーションの担い手としての専門職・臨床発達心理士として求められる役割や専門性について考えたいと思います。



日時

平成30年10月28日(日)

14:00～17:00 (受付13:30～)



会場

徳島大学総合科学部1号館301教室

〒770-8502 徳島市南常三島町1丁目1番地

http://www.tokushima-u.ac.jp/access/shinkura_josanjima/



講師

早川 貴久子 先生(臨床発達心理士)

2007年から6年間、徳島県教育委員会及び徳島県総合教育センターの指導主事として、行政の立場で特別支援教育の推進に携わり、小学校現場に戻ってからは、指導教諭として特別支援教育を実践しながら、巡回指導相談員として教育相談業務にも携わる。

2018年3月に教師を退職し、現在は、東京都特別支援教室心理相談員、徳島県保育・幼児教育アドバイザー、鳴門市教育支援アドバイザー、児童発達支援センターきりん教室訪問支援員として、徳島県内を中心に活躍中。



参加費

500円 ※事前申込不要

当日は、IDカードを必ず

ご持参ください

日本臨床発達心理士会 中国四国支部

第49回研修会の会場について



【アクセス方法】

バス利用の場合(約 20 分)

◆徳島市営バス

徳島駅前から「中央循環(左回り)」行・「島田石橋」行・「商業高校」行他に乗車し、「助任橋(徳島大学前)」又は「徳島大学南」下車して徒歩約 5 分

※「商業高校」行のみバス停が「徳島大学南」になります。

◆徳島バス

徳島駅前から鳴門線、鍛冶屋原線に乗車し、「大学前」で下車して徒歩約 5 分

【駐車場について】

徳島大学構内の一般駐車場は、台数に限りがあります。

自家用車で来られる場合は、大学周辺の有料駐車場を利用されるか、公共交通機関での来場をお願いします。

